

(仮)山梨県スポーツ推進計画の策定に向けて

やまなしスポーツ推進プログラム(H26~30)

**基本理念**  
【健康で豊かな生活を営むことができる「やまなしスポーツ」の創出】

1 ライフステージに応じた健康の保持増進・スポーツの推進

- 1 子どものスポーツ機会の充実
  - ・体力の向上
  - ・教員の資質の向上と指導体制の充実
  - ・スポーツ環境の充実
  - ・全国・関東規模の大会の開催

2 健やかな体の育成(学校保健・食育・学校安全)

- ・健康教育の推進
- ・スポーツ医・科学の活用

3 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ・市町村及びスポーツ推進委員との連携・協働の強化
- ・体育協会との連携
- ・参加機会の充実
- ・指導者等の養成・確保・活用
- ・国際交流の推進

4 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備

- ・総合型地域スポーツクラブの設立・育成と広域スポーツセンターの充実
- ・地域のスポーツ指導者等の充実
- ・市町村のスポーツ推進計画の策定
- ・スポーツ施設の整備、利用拡大・充実
- ・スポーツ情報提供システムの充実

2 競技スポーツの推進

5 競技力の向上

- ・優秀選手の育成・強化
- ・スポーツ医・科学の活用
- ・一貫指導体制の推進
- ・優秀選手等の表彰
- ・競技力向上を図る指導者の養成
- ・トップアスリートの活用

3 スポーツ界の好循環の創出

6 トップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進

- ・拠点クラブの活用
- ・スポーツ推進委員の活用
- ・地域スポーツと大学等との連携
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿等の誘致
- ・スポーツツーリズムの推進
- ・多様なスポーツ活動の推進

取り組み後の主な課題

健康・体力づくり一校一実践運動などの運動習慣の定着への取組を、運動を楽しみながら効果的に推進することでさらなる子供の体力向上を図る必要がある。

県民のスポーツへの参加機会を充実するため、スポーツ推進委員の活動の支援や総合型地域スポーツクラブの質的向上を図っていく必要がある。

少子化による競技人口の減少や指導者の不足等の課題があるため、ジュニア世代の発掘・育成事業や指導者の資格取得などを推進していく必要がある。

東京オリパラ等の事前合宿を誘致することができたので、今後は、各市町、各競技団体と連携して、競技力向上や地域振興などに繋げていく必要がある。

平成26年から30年における状況の変化

第2期スポーツ基本計画(文科省)(H29~33)

今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策

- 1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大とそのための人材育成・場の充実
  - (1) スポーツ参画人口の拡大
  - (2) スポーツ環境に基盤となる「人材」と「場」の充実
- 2 スポーツを通じた活力があり、絆の強い社会の実現
  - (1) スポーツを通じた共生社会等の実現
  - (2) スポーツを通じた経済・地域の活性化
- 3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備
- 4 クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上

やまなし運動部活動ガイドライン(山梨県)(H29)

適切な運営のための体制整備

- (1) 運動部活動の方針の策定等
  - ・市町村教育委員会は、「設置する学校に係る運動部活動方針」を策定
  - ・校長は、「学校の運動部活動に係る活動方針」を策定・公表
- (2) 指導・運営に係る体制の構築(適正な数の運動部の設置)
- (3) 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進(科学的トレーニング)
- (4) 適切な休養日等の設定(平日1日、土日1日以上)
- (5) 参加する大会や練習試合等の見直し
- (6) 生徒のニーズを踏まえた環境の整備

本県での2巡目国体の誘致表明(平成43年)

(仮称)山梨県スポーツ推進計画素案(H31~35)

【基本理念】

「県民誰もが、いつでも、どこでも  
スポーツに親しめる元気なやまなしを創造する」  
~「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進!~

1 子供のスポーツ機会の充実

- ・子供の運動習慣の確立と体力の向上
- ・持続可能な運動部活動環境の構築

2 健康教育の充実

- ・学校保健、学校給食及び食育等の推進
- ・学校安全の推進

3 若年期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ・スポーツに対する意識の啓発
- ・日常的にスポーツ活動に参画するための取り組み
- ・総合型地域スポーツクラブの充実
- ・指導者の育成、施設や情報の充実
- ・スポーツに対する機運の醸成
- ・国際交流の促進

4 次世代アスリートを発掘・育成する戦略的な体制等の構築

- ・優秀選手の発掘・育成
- ・スポーツ医・科学の活用
- ・一貫指導体制の推進
- ・障害者のスポーツ活動の推進

5 スポーツに係る好循環の仕組みの創出

- ・オリンピック・パラリンピック教育の推進
- ・トップスポーツと地域との連携
- ・スポーツによる地域振興
- ・スポーツボランティアの育成と活用

赤文字は新規政策目標、青文字は拡充政策目標

県政モニターアンケート調査結果の反映